

高野山真言宗
紫雲山菩提院
西光寺

四国三十三観音霊場
第2番札所
百八観音霊場
第41番札所



〒771-1702
徳島県阿波市
阿波町稲荷53
Tel 0883-35-2784
ホームページ
<http://west-light-temple.com>
発行所 西光寺
発行人 澤 善弘

《年表でみる西光寺の歴史》

-開創-

住職過去帳によれば、中興開基と記されており、それ以前のことは不明であるが、開基は行基菩薩 (668~749) と云われている。

-平安時代-

寛弘2年 (1005) に中興。

-南北朝時代-

正慶3年・建武1年 (1334) 中野村道灌の地に足利氏勅願により再興。

-安土桃山時代-

天正10年 (1582) に長宗我部元親の兵火で焼失。

-江戸時代-

元和4年 (1618) 明王院末寺として、現在地より南に約300mの地、庚申原に再建後、焼失。
明暦3年 (1657) 宥詳法印のとき、現在地に再建。
文政8年 (1825) 宥光法印、玄関・庫裡を再建。
天保5年 (1834) 宥寛法印、同8年まで3年有糸を費やし、楼門・納屋・土蔵を建立。

-近代-

昭和55年 (1980)、覺應師のとき、庫裡を改築、本堂修復。
平成10年 (1998) 弘榮師、同12年にかけて、客殿改築。本堂修復。
【参考資料】日本名刹大辞典、久勝町史



西光寺の山門
阿波市有形文化財(昭和59年指定)

ところで、最近テレビや新聞でよく目にするのは少子高齢化のニュースです。子供の都会就職に伴って核家族化が進み、その波は阿波町にも押し寄せております。その結果、お墓を都会へ移す、または家が絶える、空き家ができるなどして、今まで先祖が守ってきた家や土地を見る人がいなくなり、御霊を供養する者もいなくなる。さらに、お墓や仏壇、先祖、お寺に対する若者の想いが次

先々代の覚應住職の頃から約30年に亘り、西光寺総代として務めさせていたでしてあります。私も80歳手前を迎え、総代長を退かねばならない年齢になりましたが、若い住職が一生懸命に頑張る姿を見て、まだ辞める訳にはいかない、そういう思いであります。



安友 清

総代長あいさつ

第に薄れてきているのも事実です。他には、結婚式もしない、式の仲人も要らない、家庭愛、隣人愛もないような、個人主義社会になりつつあります。このように、現実では厳しい時代がやってきております。

そのような流れの中で西光寺を見ますと、阿波市有形文化財「西光寺の山門(天保8年1837年)」と、「西光寺本堂(明暦3年1657年)」が、長年の星霜を経て傷みが激しくなってきたお見えます。将来的には修復や改築等を考えねばならない時が来ているということ、檀家の皆さまにはお知りおきいただきたく思います。

平成27年は、弘榮住職の7回忌とともに、高野山開創1200年を迎えます。これを節目とし、西光寺がひとつひとつ前に進んでいくように、総代長として、また、檀家として、尽力していきたいと思っております。



西光寺役員紹介

平成26年4月1日付

順不同
有兼務

総代長
安友 清
中井邦武
板東章智
藤原康夫

(ご逝去の為)
(ご退任)

会計

安友治夫 川人秀世

世話人

板東章智 板東久志

板東夏弥 新森 登

須見友一 小山忠行

小山恒夫 中井和宏

藤川経春 中井庚治

中井計延 金井 功

岡田俊武 岩城義人

平島義弘 枝澤 正

枝澤利幸 川人永治

原田忠幸 川人 忠

細川敬雄 川人建介

森友利雄 森友卓司

川人秀世 川人信人

楠本福一 安友 勤

田中照明 川人良亘

川人一義 川人芳正

坂東博明 坂東忠一

香川保雄 松村孟官

安友勝明 佐藤一男

多田 桂 香川忠勇

(ご逝去の為)
(ご退任)

(ご療養の為)
(ご退任)

復刊にあたって



住職 善弘 職澤 善弘

檀信徒の皆さまにおかれましては、日頃より西光寺護持の為に協力くださり、誠にありがとうございます。前年度役員総会の決議により、寺だより『紫雲閣』を復刊させていただきました。先代の弘榮師のときには何度か発行されておりましたが、長い間中断されておりました。

今回の寺だより復刊の目的は、檀信徒の皆さまにお寺をより身近に感じてもらいたい、ということにあります。ひと昔前まで、お寺という場所は子供たちの遊びの場であり、学問や社会教育の場であり、また、大人にとっても『困ったときの駆け込み寺』的存在でした。さらには、お寺に

村役場が置かれた時代もありました。けれども、近世、お葬式や法事の時にだけ訪れる場所となっ てしまっているのではない でしょうか。

私の僧侶としての活動 期間はまだまだ長くはありま せん。しかし、檀務や勉 強会を経験するうちに、 お寺という場所は、亡く なられた方のご供養のた めだけに存在するのでは ない、と思うようになり ました。

巷はものや情報であふ れ、人の心のまことが見 失われつつある現代。今こそ、人々の心が幸せに なるよう、正しい教え を発信する役割がお寺に 求められているのではな いでしょうか。

まずは、お寺の活動内 容を多くの皆さまに知っ ていただくこと。それが お寺という場所をより身 近に感じていただくこと につながり、ご先祖さま

や神仏、目に見えない大 切なものへの敬意と感謝 の念の再認識を促し、皆 さまの心の幸福の道への 第一歩となるのではと思 います。

初めての編集作業につ き、至らぬ点が多々ある かと思います。是非と も、慈悲の眼を以てご一 読いただき、ご意見・ご 感想をいただければ幸い です。



四国33観音霊場 25周年記念法会



平成26年9月29日、四国中央市川之江町の吉祥院宅善寺にて、四国33観音霊場開創25周年記念法会が営まれました。
霊場会全寺院の住職が参集し、世界平和や諸人快樂等、霊場会の今後の発展を祈念しました。
青空の下、心響会（真言宗豊山派青年会の皆さん）による般若心経の法楽太鼓、太鼓・篠笛・真言によるオリジナルのパフォーマンスもあり、記念法会は大いに盛り上がりしました。

百八観音霊場 誕生



平成25年4月18日（元旦から数えて108日目）、九州、中国、四国地方の3つの観音霊場によって、「百八観音霊場」が開創されました。
第1番札所となる岡山市東区の高野山真言宗西大寺に於いて、開創記念法会が営まれました。
3霊場の役員、札所寺院、檀信徒ら約300人が参列して盛大に営まれました。
西光寺も百八観音霊場第41番札所として、開創法会に参加致しました。
この百八観音霊場会には、真言宗の他に、天台

宗、禅宗の寺院も札所となっており、開創法会では各宗派の声明（お経）が組み込まれ、厳かな法要となりました。
百八観音霊場の開創により、西光寺に納経に訪れるお遍路さんも以前より増加しております。
「百八の煩惱を浄めて百八の智慧をいただく巡拝の旅」が霊場会のテーマです。



参与会に 入会しませんか

正式には「高野山真言宗参与会」といいます。
総本山金剛峯寺座主・高野山真言宗管長さまを総裁と仰ぎ、弘法大師のみ教えを守り弘め、お大師さまの衆生救済のご誓願にお応えすることを目的とする信仰団体です。

西光寺を縁寺とする参与会員数は、現在13名です。年に1度弘法大師の縁日に定例会を開催し、親睦を深めております。
入会希望の方、ご興味のある方は西光寺までお知らせください。
※檀信徒以外の方でもご入会いただけます。

平成26年9月18日、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）にて四国地区特別伝道大会が開催されました。表彰式にて、参与会員の佐藤一男さんが参与会継続23年を迎えられ、徳島宗務支所長矢野行俊僧正より、壇上で表彰を受けました。



平成26年 特別伝道大会

参与会入会特典

（年会費1万円）

①高野山真言宗管長さまより委嘱状・参与袈裟・参与バッジを授与していただけます。参与袈裟をつけて高野山に参詣すれば、諸堂・霊宝館等の内拝無料です。

②高野山から毎月2回、「高野山教報」という新聞が届きます。高野山真言宗が発行する印刷物もその都度届きます。

③高野山真言宗が主催する講演会や研修会に参加できます。



平成26年 弘法大師降誕生会



高野山参拝旅行 夜の奥之院萬燈会と 結縁灌頂の旅

結縁灌頂の旅



平成25年10月2、3日にかけて、「高野山参拝旅行」夜の奥之院萬燈会と結縁灌頂の旅」と題して本山へ団参してまいりました。

参加者数は檀信徒及び縁者36名に加え、アシスタントの鈴木泰祥師（那賀郡萬福寺）、澤善弘（西光寺）を合わせ、都合38名（最年長87歳、最年少24歳、平均年齢68・75歳）でした。

奥之院参拝（般若心經と御詠歌の奉納等）終了後、宿坊釈迦文院に宿泊しました。日が落ちてからは、滅多に参加できない夜の奥之院燈籠堂での法会「萬燈会」を参拝。

翌朝、仏さまとご縁を結ぶ「結縁灌頂」への入

壇、総本山金剛峯寺拝観と本山布教師の浅田慈照師によるご法話。行程外ではありましたが、高野山の宝物館である靈宝館にも訪れる、という盛りだくさんの内容となりました。

二日間にわたる高野山参拝旅行。大きなトラブルもなく、無満成満出来ましたことを、阿波中央バスさんをはじめ、萬福寺鈴木師、参加された皆さまに心より感謝申し上げます。 合掌

旅のしおり



参加者の声

参拝旅行に参加させて頂き、ありがとうございます。私は高野山へは初めてで一度参拝したいと思っていたので、旅行のお話を聞いたときはすぐ参加しようと思えました。

樹齢数百もの大杉や奥之院等のお参り、たいへん感動しました。他のツアーでは出来ないであろう、萬燈会や結縁灌頂の参加が出来、本当に良かったと思えました。参加された皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。

60代女性

奥之院参拝。夜の奥之院萬燈会は初めてのことで感激致しました。高野山へは2度程お参りしたのですがもう30年程前になりました。良い日を計画していただいて、有難うございました。

結縁灌頂では、曼荼羅に向い華を投げて仏さまとご縁を結ばせて頂き、智慧の水を頂き、よい体

験となりました。釈迦文院。朝勤行で廻向供養をしていただき、先祖も大変喜んでいいることと思います。

全員の方が縁を頂き、和気あいあいのうちに無事に帰られ、西光寺様萬福寺様にお世話を頂き、何と言って感謝申し上げます。有難うございました。80代男性

西光寺さまのお世話で

初めての高野参り。萬福寺さまと一生懸命のお世話、ありがとうございます。奥之院萬燈会、沢山の燈籠と蠟燭の灯りの中で、若き修行僧を手を合わせ待つ。うす暗い杉の大木の並木の間から鐘を鳴らして、しずしずと立派な姿で燈籠堂まで来られる光景も見応えするものでした。錦織の立派な袈裟にピッタリ合った声の良さ、一歩違わず元の位置に立っている、これこそ修行の賜物と感心させられ、雅で厳かで夢心地で、時を過ごしました。歴史ある高野山で貴



重な体験を有難うございました。運転手さん、安全運転有難う。ガイドさん、行き届いたご配慮有難う。 70代女性

待っていた高野山の旅の朝、ちっと早いのが心配でしたが、前の席を取ってもらい、楽しく出発でき、何より若いお二人にお世話をしてもらい、元気をもらいました。案内をいただいた澤様鈴木様、両住職のおかげを思い感謝。鈴木泰祥様にも宜しくお伝えください。宿坊も良く、特に夜の奥之院萬燈会はありがたく、今回はご一緒の皆さまも知っていただきたま



しました。どうもお世話になりました。元気で頑張ります。元気であればまた連れていってください。
80代女性

初めて参加させて頂いた聖地への参拝旅行。それはとても感慨深いものでした。
ふびんな表現で失礼ですが、弘法大師空海を身

近に感じられた萬燈会、結縁灌頂の荘厳さは筆舌に尽くせぬものでした。難解と思ってきた真言密教をその風景として御示し下さった浅田師の御法話は、私の様な凡夫にもおぼろげながら理解できる有り難い内容でした。
ところで、拙いお願いを申し上げます。代々真言宗に、西光寺様に帰依しながら、私を含め、ほとんどの方が真言宗について理解が乏しいまま今日に至っていると存じます。この傾向は今後若い世代には宗教・仏教離れに至ると危惧します。その対策のひとつとして、この度の法話の先生のお話をビデオ作成し、様々な機会に活用の方を設けることをご検討いただければと存じます。この施策、出来れば真言宗全体の取り組みとなれば...と思います。以上、取留めのない内容ですが、ご容赦願います。最後になりますが、この度は本当に有難う御座いました。心より御礼申し上げます。
60代男性

2日間の参拝旅行、大変お世話いただき、ありがとうございました。今まで旅行には日本の北から南まで行きましたが、私には今回が一番心に残る旅行と成りました。
奥之院参拝、萬燈会、朝勤行、檀上伽藍、結縁灌頂入壇、総本山金剛峯寺参拝と、その場その時心が洗われて、無心に成り、少しの間でも自我が消える思いがしました。
大変良かったです。
今後このような参拝旅行がありましたら、出席しますので宜しくお願致します。有難うございしました。萬福寺鈴木泰祥さんにも宜しく...
70代男性

初めての高野山だったので、しおりやDVDなど説明して下さったので、よくわかって良かったです。本当に2日間お世話になりました。とても良い経験ができたので、ご縁を大切にしていきたいです。
20代女性

高野山参拝旅行ではお世話になりました。バスの中で、ごく簡単な自己紹介(名前、地区、ひとこと)高野山を楽しみにしていた、などが有れば良かったと思います。参拝中に、個々で集まると、あの方知っていますか、という話になりました。私もそうですが、知らない人が多かった様に思います。また、知らない人でも話をしていくと必ずどこかでつながります。ということで今後の参考にしてください。
60代男性

西光寺さん、ありがとうございます。
80代男性





〔開催〕 月2回
第1、第3の日曜日
〔時間〕 午後6時30分頃より
〔場所〕 西光寺本堂
〔月謝〕 無料
〔互助会費〕 1千円/月

※互助会費はお茶代等に使用し、残りは行事等のため積立します。



高野山金剛流 御詠歌教室 『歌菩薩の会』落慶



平成26年4月吉日、御詠歌を楽しむ会、『歌菩薩の会』が活動を開始しました。

御詠歌とは宗教音楽のひとつで、様々なご利益がいただけます。

現在、30〜80歳代まで約15名の会員の方がおられ、月2回、和気あいあいとお稽古に励んでおります。

御詠歌を通してお寺をお参りする、コンサートに行く等の様々な楽しい行事を企画していく予定です。

新規会員大募集中！



優真旗は1年間、本堂で飾らせていただいております。

私事ではありますが、詠歌選抜審査教師個人部において、管長賞を受賞いたしました。

平成26年4月9〜11日にかけて、高野山大師教会に於いて御詠歌の全国大会が開催されました。



一唱懸命

御詠歌の曲紹介

宗歌 いろは歌

作詞 弘法大師
作曲 永井幸次

いろはにはへと

ちりぬるを

わかよたれぞ

つねならむ

うぬのおくやま

けふこえて

あさきゆめみし

ゑひもせず

この曲は『宗歌』とい
い、いわば真言宗のテ
マソングです。昔の子供
さんたちは、いろは歌を
通して読み書きを学んだ
と云われています。

歌詞はひらがなで構成
されていますが、よくみ
ると、二つと同じ文字が
使われています。漢字
に直せば、仏教の大切な
教えが盛り込まれている
ことがわかります。

色は匂へど散りぬるを
（花の色や香りはない
へん美しいものだが、
いずれは儚く散ってし
まう。すべてのものは
移り変わっていく。）

我が世誰ぞ常ならん
（私の人生も、誰かの
人生もどうして常であ
ることがあるのか。い
や、永遠ではない。生
まれては消えていくこ
とがこの世の真理。）

有為の奥山今日越えて
（修行によって、生死
という概念をも超えた
境地に至ると。）

浅き夢見じ酔もせず
（浅き夢、すなわち自
分の中のあさましい煩
悩に惑わされることの
ない、安楽の境地に至
る。）



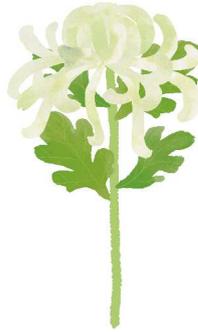


Q

古い卒塔婆がお墓の後ろに沢山あって困っております。どのようにすればよいでしょうか？

A

卒塔婆はご先祖さまへのご供養の塔です。故人さまの戒名、回忌本尊さまの梵字等を書いておられますので、粗末に扱ってはいけません。卒塔婆は、ずっとお墓の後ろに置いておき、自然に朽ちて土に還るのが本義です。しかし、辺りが散らかって気になるようでしたら、古いものから持ち帰り、清浄な場所でお焚き上げてください。その際、般若心経や光明真言、南無大師遍照金剛等をお唱えください。そして、燃え残った灰は土に埋めてあげるとよいでしょう。埋める場所は、お墓の敷地内、あるいは庭や畑でもよいと思います。



檀信徒の皆さまへ 護持会・初穂料 ご協力をお願いします

当寺では、昭和56年、当時の総代世話人の皆さまの決議により、『西光寺護持会』が落慶しました。そして、昭和58年よりお寺の護持・営繕のために、檀信徒の皆さまに毎年浄財を募り、積立をさせていただいております。

皆さまには、護持会費と初穂料の2種類をお願いしております。

護持会費は毎年8千円をお願いしております。

(平成22年までは毎年、1万円でした。)

初穂料は毎年2千円をお願いしております。

護持会費の 使用目的

護持会費は、主に境内及び本堂等の建築物の護持・営繕のため、また12年に1度の大法事(十夜大法会、先祖供養)、涅槃大法会(釈尊への遺徳追慕報恩、先祖供養)等のために使用・積立させていただきます。

初穂料の 使用目的

初穂料は、ご本尊さまと檀信徒の皆さまのご先祖さまに対するお供え料(線香、ろうそく、花、仏飯、供物等)として使用させていただきます。

護持会会計報告

毎年、西光寺役員総会(総代・世話人会)において会計報告を行っております。

護持会会計に関する疑問等がございましたら、地域の世話人さまへお問い合わせいただくか、世話人さまがおられない場合、直接西光寺までお尋ねいただきますようお願いいたします。

皆さまのご理解と協力に、心より感謝申し上げます。

西光寺護持会



仏の智恵 推薦図書



『あした死ぬかもよ？
〜人生最後の日に笑って
死ぬる27の質問〜』

読み易さ ★★★★★

著者 ひすいこうたろう

出版社

デイスカヴァー・

トゥエンティワン

明日自分が死ぬとしたら
どう生きますか？

若者にも読みやすく、自
分で書き込んでいくという
新しいタイプの1冊。きつ
と自分の生き方が見えて
くるはずですよ。

『重いけど生きられる
〜小さなお寺の
法話集〜』

読み易さ ☆★★★★

著者 山本英照

出版社 イースト・プレス

筆者のお坊さんが檀家
さんとの対応の中で見聞
きした実話。心が温かく
なる話。悲しい話。感心

した話。不思議な話。
普段忘れがちな大事な
ことがぎゅっと詰まった
1冊。

『大師はいまだ
おわしますか』

読み易さ ☆☆☆☆☆

著者 添田隆昭

出版社 高野山出版社

本場に弘法大師はいまだ
高野山奥之院で金剛定に
入られ、我々を救い続け
ておられるのか。

臨死体験の研究、輪廻転
生や日本人の宗教観、夢の
不思議など様々な観点か
ら、大師の入定信仰につい
て考察していく。
最後まで読めば、どなた
さまもきつと納得がいくほ
ずですよ。



西光寺ホームページ完成

URL <http://west-light-temple.com>

お寺の情報・行事案内を発信中。住職の活動報告ブログも好評更新中。



除夜の鐘を鳴らそう

除夜の鐘、鳴らしませんか？ 西光寺鐘楼門にて。
12月31日、午後11時40分頃より、先着108名。



平成二十七年(三〇一五) 年忌繰出表

ご法事(回忌法会) ご逝去の年

一	一周忌	平成	二十六年
三	回忌	平成	二十五年
七	回忌	平成	二十一年
十三	回忌	平成	十五年
十七	回忌	平成	十一年
二十五	回忌	平成	三年
三十三	回忌	昭和	五十八年
五十	回忌	昭和	四十一年
六十一	回忌	昭和	三十年

お仏壇のお位牌をお調べください。
ご法事を申し込まれる場合、お早めに寺へ日時・
場所等の打ち合わせをご連絡お願い致します。

編集後記

7月から寺だより『紫雲閣』作成に着手し、完成は
11月末の役員総会直前となりました。想像以上に時間
と労力がかかり、何事も取り組んでみないと大変さが
わからない、ということを変更して痛感いたしました。
イラストレーター、フォトショップという特殊ソフ
トの初歩的な使い方から、デザイン等に至るまでご指
導を賜りましたデジタルマインドの坂東さまには、心
より御礼申し上げます。そして、復刊にご賛同いた
いた西光寺役員の皆さま、最後までお読みいただいた
皆さま、本当にありがとうございます。 善弘拝

